



今、インターホン故障が 発生したら？ 部品調達困難パニック への対処法

物件のインターホンシステムに不具合が発生した場合、「早急な対応」が求められます。しかし、最近では、インターホンシステムで 사용되는部品の調達困難が深刻な問題となっています。半導体や電子部品の供給難からインターホン修理に欠かせない部品の調達が難しくなり、修理交換に時間がかかる事態が発生しています。

そんなインターホン故障で直面するトラブルへの準備と対処法についてお伝えします。

半導体や電子部品の供給難で大きな影響を受けている設備として給水ポンプの問題を2022年12月号でお伝えしました。

それと同じことがインターホンシステムでも発生しています。インターホンシステムは機器が廃盤になっているケースが多く、その深刻度は給水ポンプ以上だとも言われています。



「ポンプ故障で断水…でも修理も交換もできない事態が発生しています」のQRコード

建物玄関に「オートロック」が設置されている物件の大半は、アイホンまたはナショナル（現在はパナソニック）のインターホンシステムが使用されています。このシステムに何らかの不具合が生じると、大変な問題が発生する可能性があります。

入居者からこんな連絡がはります。

「帰宅したがオートロックが開かず館内に入れません」
「1階エントランスと部屋との通話ができません」
「部屋からオートロックの解除ができません」



こうした入居者の一報からすぐに、メーカー（アイホン、現パナソニック）に連絡、故障原因の調査と修理の手配をするわけですが、故障が発生するインターホンシステムの多くは、設置年数が経過し廃盤になってしまっている可能性がきわめて高くなります。廃盤により部品の製造がストップしてしまったものは、部品調達ができずに修理ができないため、**メーカーは現地訪問すらしてくれません。**

廃盤で修理ができなくなると、インターホンシステムそのもののリニューアル工事の必要性がでてくるわけですが、ここに半導体や電子部品の供給難が影響してきています。

システムそのものの部品が供給難で調達できないことから、リニューアルしたくても現在、工事発注から納期まで数カ月必要な状況にあり、**元通りに使用できるようになるには数カ月から半年以上かかることがあることに注意が必要です。**

◆インターホン、オートロックが使えない影響◆

インターホンやオートロックが使用できず、修理やリニューアルも行われないうちは、入居者の生活に大きな不便を与えることとなります。

例えば

- ・インターホンでの通話ができない為、入居者には携帯電話で代用してもらう不便
- ・部屋からオートロックの解錠ができない場合、来客のたび、エントランスに行く不便